

モルック

Mölkky(モルック)とは、フィンランドのカレリア地方の伝統的なkyykkäというゲームを元に、Tuoterengas社(フィンランド)によって1996年に開発されたスポーツです。母国フィンランドでは、世界大会が開催されるほど大変親しまれています。



モルック

スキttl

時期	通年	所要時間	1～2時間	人数	60名以内
対象	小学校中学年以上	活動場所	中央ホール、アセンブリホール		
準備物	自然の家で貸し出す物		団体・個人で準備する物		
	モルック用具一式 得点表		□汗ふきタオル □水筒(必要に応じて)		
活動の手順	事前指導	<p>1 チームを編成する。(1対1 2対2 5対5等)</p> <p>2 用具を準備する。(プレイホール内用具室)</p> <p>3 ルールを知る。</p> <p>【ゲームの進め方】</p> <p>①モルックを投げる地点を決め(何か目印を置くとよい)、そこから3～4m離れたところにスキttlを順番に並べます。</p> <p>②2チーム以上で対戦しますので、投げる順を決め、順番にモルックを投げてスキttlを倒します。 ※モルックは、下から投げます。投げても、転がしてもいいです。</p> <p>③このとき複数本のスキttlが倒れた場合は、「倒れた本数＝点数」となります。</p> <p>④1本しか倒れなかった場合は、「倒れたスキttlに書かれている数字＝点数」となり、先に50点先取した方の勝利となります。</p> <p>⑤スキttlは、倒された地点で再び立てられます。</p> <p>⑥スキttlはゲームが進むにつれて広がり、倒すのが難しくなってきます。いずれかのチームが50点を先取した時点でゲーム終了となります。ただし、50点を超過してしまった場合は、25点に戻ってしまいます。</p> <p>※ ルールは団体で工夫しても構いません。</p>			
	活動の実際事後	<p>○ ゲーム開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームに参加していないチームが審判及び得点係をする。 ・トーナメント戦またはリーグ戦で行う。 <p>1 参加者のけがの有無を確認する。2 用具の後片付けをする</p> <p>3 成績発表や表彰式を行う。(任意)</p>			
備考	<p>・当所では室内種目として実施します。木製の用具のため、カーペット敷きの場所が活動場所となります。</p> <p>・他のニュースポーツと同時に活動し、交替しながら楽しめます。</p> <p>・けが防止のため、モルックを投げる際は、周囲の安全を十分にご確認ください。</p>				

